

代表質問

鳥取県議会自由民主党



齊木 正一 議員
選挙区 米子市



平井県政5期目の基本姿勢

問 5期目のスタートラインに立ち、この4年間への意気込みは。

答 世界情勢の危機は民主主義を脅かし、物価高など産業や雇用、地域の暮らしにも影響している。感染症を克服してきた実績を踏まえて、小さい鳥取県だからこそ世の中を変える先遣隊として力を発揮したい。大阪・関西万博や山陰道が一本で繋がる機会を生かしてふるさとを創っていく局面で、若い世代が輝き子どもたちが未来に希望が持てるよう、豊かな絆や自然とともにゆったり生きる幸せや喜びを得られる新しい時代へ踏み出していく。大きな夢を持って新たな心で挑戦を遂げていく決意。

中山間地域の生活機能維持

問 スーパー撤退に伴う買物環境の危機など中山間地域の暮らしにくさを解消し生活機能を自律的に維持するための方策は。

答 買物環境確保は地域の課題という側面が強く、移動販売の取組や町が店舗を取得して地元が運営する形態など、県としてそれぞれの市町村の実情に合わせた計画に対して応援していく。交通や医療も経営が難しくなる中で地域の新しいスタイルを創る転換期にきている。中山間地域振興の組織を立ち上げ一元的に対応したい。

犯罪被害者に寄り添う取組

問 犯罪被害者の精神的・経済的負担に対する支援体制構築に行政としてさらに積極的な関与を。

答 政府は犯罪被害者支援に向けた組織を設置し本格的な支援の検討を進める。県でも警察の初動対応やその後の寄り添い、福祉や教育、医療との連携を含め、ワンストップ型の対応に向けて踏み込んで丁寧な議論したい。

災害に強い住宅耐震化政策

問 県内の住宅耐震改修に向けて計画では令和12年目標まで残り15%だが、いかに進めるのか。

答 海外の地震被害を見ても免震対策・耐震化率引き上げは非常に重要で、建築士会等との協働や健康省エネ住宅の補助金活用と併せた働きかけを進めていきたい。

子育て推進施策の充実・深化

問 全国的に出生数が減少する中、本県では昨年増加に転じたものの12年前との比較では1千人も減り、少子化対策は喫緊の課題。

答 県内全市町村の小児医療費の完全無償化について合意を得たほか、保育の負担軽減や保育士の養成、産後ケアや不妊治療を推進する。出会いの場がないとの声も多くのカップル倍増作戦に取り組みながら「シン・子育て王国プラン」を年度内に取りまとめたい。

農業生産一千億円達成目標

問 食料安全保障の確立に向け消費需要を喚起する川下政策で生産拡大を図るべき。

答 国民の食料確保のため政府が食料・農業・農村基本法の改正に向けて議論する中、本県では700億円台まで低迷する農業生産の引き上げを図るようJAGB

高速道路ネットワーク整備

問 中海大山圏域全体の振興を図る上でも米子〜境港間の道路整備について、進捗と今後は。

答 米子〜米子北間の平成18年の事業凍結後、局面打開に向け県議会では議員連盟が設立された。こうした活動を踏まえ国の令和5年度予算概要に初めて「米子〜境港の機能軸」の課題整理が記載された。県としても更に後押しする。

県民総活躍社会の構築戦略

問 人口が少ないからこそ県民一人一人の希望が叶えられる環境を整え、明るい未来を展望できる活力ある郷土づくりが必要。その理念を県政の羅針盤である総合戦略に埋め込み、県民皆が活躍できる県政の推進を図るべき。

答 新たな挑戦が求められる時代であり、市町村や諸団体の意見を聞きながら戦略改定に取り組み、デジタル田園都市国家構想の実効ある推進と地方創生を図りたい。

(※) 食パラダイス…本県では今年度から「食のみやこ鳥取県」から「食パラダイス鳥取県」にステージアップし県特産品の新たなブランド戦略を進めている。